

## 問題を解決する「税」

弘前市立第三中学校 1年 日景 千晴

今まで「税」にはあまりいいイメージがありませんでした。何にでも税金はかかるし、「税金が高くて大変だ」と大人が言っているのもよく聞きます。しかし、自分が税について何がわかっているのか、病院や公園、学校などの公共のものに税金が使われていることや消費税のことしか知らないことに思い当たり、調べてみることにしました。すると、現代の社会的問題を解決する目的で「税」が作られることもあると知って、とても驚きました。

例えば、アメリカでは、肥満の人が増えたため「炭酸税」を制定したそうです。炭酸の会社側から見れば商品の売り上げに関わる点で少しかわいそうですが、健康のために課したこの税で実際に炭酸飲料の売上高は下がり、効果はてきめん。他にもハンガリーでは「ポテトチップス税」と呼ばれる健康増進税が導入されました。こちらも肥満防止が目的で、ポテチ以外にもスナック菓子や清涼飲料などの糖分や塩分が高い食品が対象となっています。私はよく清涼飲料水を買うので、日本に導入されずによかったと思いました。

また、世界で初めてデンマークで制定された税が「脂肪税」です。この税は、二・三パーセント以上の飽和脂肪酸を含む食品、例えばバターやチーズ、牛乳、肉類など多くの食品に及びました。しかし、管理コストの増大や低所得者への影響など危惧されることが多く、およそ一年間の短さで廃止されてしまったそうです。

最後に、日本の「入湯税」についてです。社会的問題の解決という点からは離れてしまいましたが、日本では当たり前前の温泉に入ると支払われる入湯税も、海外からきた人にとってはとてもユニークに感じられる税金なのだそうです。税金の使い道として、環境衛生施設や鉱泉源保管施設の整備、観光振興などがあります。温泉を守るために作られた税ということがわかります。私たちにとっては当たり前前の税金も違う国から見れば、「炭酸税」や「ポテトチップス税」のように驚かれる税になることに新鮮さを感じました。

もし、私が社会の問題をよくする「税」を制定することができるならと考えてみます。

まず、一つ目は「SNS税」です。SNSの使用時間に比例して課税することで、使用時間を減らし、その分デジタルデトックスした生活のための時間とお金を増やせると思います。

二つ目は「夜更かし税」です。世界の中でも日本は睡眠時間が短いことで知られています。夜更かしが健康に良くないことはわかっているにもかかわらず流されてしまう人が多い日本にぴったりの税ではないかと思えます。

今回、「税金」は理由があってこそそのものだとわかりました。さらに、「人」や「社会」のために税が使われていくことをもっと調べて、理解していきたいです。